



東北学院大学 チャペル ニュース

ク リ ス マ ス
特 集 号

第103号 2007年12月
東北学院大学 宗教部
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
〒980-8511 (022) 264-6428

主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書
一章二〇〜二三節

●巻頭言●

「インマヌエル」という出来事

宗教部長 佐々木 哲 夫



「インマヌエル」は、イザヤ書から引用されたヘブライ語です。前半部「インマヌ」は「我々と共に」、後半部「エル」は「神」の意味です。

かにしています。

〈神が人の世界に到来した〉

多くの民族が神話を持っていくように、人類は、これまでさまざまに神について語ってきました。しかし、神話は、神々の誕生や神々の戦いを描くというように、人間の営みの投影に過ぎません。クリスマスは、人が神の世界を尋ね求めたのではなく、神が人の世界に來た出来事でした。

〈神が私たちと共におられる〉

神話の神は、ほとんどの場合、人間世界から遠く離れて存在しています。例えば、はるか上空の天から人間を見下ろすように描かれています。人は、遠くの神に思いを馳せるだけです。しかし、神が私たちのそば近くに來たのです。そして、私たちと共にいるというのです。

二〇〇〇年ほど前に人類が体験した最初のクリスマスの出来事は、聖書の証言に保証されながら、信仰と歴史を通して今日に至るまで継承されて來ました。換言するならば、二〇〇七年のクリスマスに、

ら、両者あわせると「神は我々と共におられる」という意味になります。この言葉は、クリスマス の 出 来 事、 イ エ ス ・ キ リ ス ト の 誕 生 の 意 義 を 明 ら

無限である神の超越世界が、有限である人間の時空世界と交差した、すなわち、神が人となつてこの世界に現れたのです。イエス・キリストによって、私たちは、有限の世界に存在しながらも、超越する神の世界に触れることが可能になったのです。

私たちは、最初のクリスマス の 出 来 事 を 思 い 起 こ す だ け で なく、今日における私たちの「インマヌエル」を確認するのです。

Christmas Message



クリスマスを迎えて

理事長 赤澤 昭三

ローマの信徒への手紙

一五章一〜六節

「わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの

善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

キリストも御自分の満足はお求めになりませんでした。

『あなたをそしめる者のそしりが、わたしにふりかかった』と書いてあるとおりです。

かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができるのです。忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに倣って互いに同じ思いを抱かせ、心を合わせ声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリストの神であり、父である方をたたえさせてくださいますように。」

☆

今年も皆さんと共にクリスマスを迎えることができますことを心から感謝したいと思います。申すまでもなく、クリスマスはイエス・キリストのご降誕を祝する世界的な行事です。しかし、それがいつ頃どこで最初に始められたのか歴史的に確定しているわけではありません。そもそもキリストご降誕の日が一月二五日であるということ自体確かではないのです。イエスのご生涯が記されている後述の四福音書のどこにも誕生日のことは書かれていないからです。古代ローマの時代に異教徒の間で行われていた太陽崇拜の冬至の祭りがやがてキリスト教徒によってイエスの誕

生と結び付けられてこの日を祝うようになったとの説もあります。現在用いている西暦の年号(A.D.)がキリストご降誕の年を起点とする、とされているのは公知のとおりです。しかし、ここではカレンダー上の問題にこれ以上立ち入らないことにしましょう。

ところで年々クリスマスを迎える度に私がいつも考えるのは、なぜ人びとはキリストの誕生日を祝って異口同音に「クリスマスおめでとう」と挨拶し合うのかということだと思います。言い換えますと、なぜ二〇〇〇年以上も経た今もなおキリストの誕生が万人の喜びなのかということですが。歴史の上でどんなに偉大な有名人物であっても、その人の誕生日を迎えた時に世界中の人び

とがこれほど一斉に喜びを口にするようなことがあるでしょうか。そのことを思いますと、一体イエス・キリストとはどんな存在なのか、その方がこの世に生まれたということとは私たちにどうという意味を持つのかということに改めて心を寄せざるをえないのではないのでしょうか。

結論から言いますと、その答えは皆さんが学校礼拝の時間にもいつも繙かれている聖書の中にあります。否、それ以外のところには見出すことができないと申してもよいでしょう。しかし、聖書を読むと人生観や世界観が悲観的になってしまふという人がいるかもしれません。確かに聖書には、人間は生来あるいは本質的に罪(原罪)人であり、した

がってそのような人間からなる社会もまた罪の支配下にあると書かれているからです。しかもその報いが死と滅びであるというのですから人間本位の立場だけから考えますとどうしても悲観主義者にならざるをえないでしょう。しかしながら聖書は私たちをただ悲観と絶望のどん底に陥れるために書かれているわけではありません。なぜなら聖書の真の目的は人間に救いの道を示すことにあるからです。私たちはいかにして救われるか、すなわちいかにすれば罪の支配から解放されて本当の自由と平安の希望を得ることができかねるかを教えているからです。それがキリスト教で説く福音ということの意味です。もしこの福音を受け入れるならば、

人びとは一転して悲観主義者から楽観主義者に生まれ変わることができるとの約束がなされているのです。このように私たちの人生にコペルニクス的転回とでもいうべき転換を保障してくださったのがイエス・キリストであるということです。

しかしこのことを十全に理解するためには、本来ならば聖書を最初から最後まで読むことが必要です。とは申しまして読書を得手としない兄弟にとつては短い時間に分厚い聖書を完読せよと言われて困惑することでしょう。そこで一番手っ取り早いクリスマススの勉強法をお薦めしたいと思います。それは新約聖書の前半にある各福音書を最後の章から逆に読み上げていくと

いう方法です。

ご承知のように福音書は、イエス・キリストのご生涯と伝道活動をマタイ、マルコ、ルカおよびヨハネという四人の記者が記述した伝記とでもいべきものです。したがってマタイによる福音書をお読みになりたいならば第二章から、ルカによる福音書なら第二章からといった具合に

です。そのように遡ってイエス・キリストのご降誕やこの世における営みの発端に辿り着けば、クリスマススの本當の意義とはなるほどそういうことなのかと多少は納得いただけるのではないかと思います。皆さんがクリスマスに因んだ音楽会やパーティなど種々の催しや懇親会などで一二月二五日やその前後(クリスマス・

イブ)を楽しむにしても、予して下された父なる神様へめそのような学習をしておけば、それぞれのご経験がイエス・キリストをプレゼントとちがいありません。生涯に残る思い出となるに

クリスマスにあたり東北学院大学 創立当初の先人の思いに触れよう

3L精神と地の塩・世の光

「先人の著書にも学びたい」



学院長・大学長
星 宮 望

東北学院はキリスト教を土台として創立された学園です。近づきたいと思えます。さて、その心を表しているものの一つが、「LIFE、LIGHT、LOVE」という言葉です。これは、私が、一九五〇

年代に、東北学院中学・高等
 学校に六年間通っていたとき
 の東一番丁の校舎（現在では、
 中学・高等学校が小鶴新田
 キャンパスに移転したために
 その面影はラーハウザー記念
 東北学院礼拝堂の地下にある
 記念資料室に行かなければ見
 ることはできません）に掲げ
 られていた言葉でありますし、
 そのルーツを探れば、一九二
 二年（大正十一年）の「仙台
 大火」の後に再建された東北
 学院中学部の新校舎の正面入
 り口に掲げられていた言葉で
 す。その時以来、東北学院ス
 ピリットを象徴する3L精神
 として親しまれてきておりま
 す。この3L精神と同様に、
 長年、東北学院の在校生・卒
 業生に大切にされてきた聖書
 の言葉に「地の塩・世の光」

があります。これは、新約聖
 書マタイ福音書五章一三―一
 六節に記されている言葉です。
 私は、東北学院中学・高等学
 校での六年間、毎朝の礼拝を
 通して多くのことを学びまし
 た。その中でも最も心に深く
 しみているのがこの「地の塩
 世の光」です。その後、大学
 生の頃に、このことに関する
 一冊の本に出会いました。そ
 れは、内村鑑三著「後世への
 最大遺物」という薄い冊子で
 す。これは、明治二十七年に箱
 根で開催されたキリスト教徒
 夏期学校での講話をまとめた
 もので、その後長い間読み続
 けられています。岩波文庫に
 収録されており、今では
 インターネットで検索して
 も見ることができます。

のとして、まず金（財産）を
 とりあげ、例えばフィラデル
 フィアのジラードという人が
 その財産を社会のために捧げ
 るとして、世界一の孤児院を
 残した話をしています。そし
 て、次にはいくつかの土木事
 業や治水事業などについても
 触れています。そして次には、
 文筆や教育についてこの世に
 良いものを残すことを述べて
 います。いずれについても大
 変示唆にとんだ話がつづきま
 す。しかし、最後に内村鑑三
 が強調したことは、これらの
 いずれでもなく、「勇ましい
 高尚なる生涯」が後世への最
 大遺物であって、これは誰に
 とっても可能なことであると
 述べています。その一つの例
 として、トーマス・カーライ
 ルが有名な「フランス革命史」

を書いたときの逸話を紹介し
 ています。彼が、広く材料を
 集めて、長年の歴史の研究成
 果をまとめて、ようやく書き
 上げた原稿を友人に貸したと
 ころ、その友人が明け方まで
 読んで寝入っている間に朝早
 くきてストーブの火をつけに
 きた下女がその原稿を燃やし
 てしまったということです。
 そのことを聞いたカーライル
 は腹を立てたことは当然です
 が失望のあまり一〇日ばかり
 ぼんやりとして何もしなかつ
 たそうです。しかし、彼のえ
 らかったところは、「実にそ
 のことで失望するような人間
 が書いた『革命史』を社会に
 出しても役に立たぬ。それゆ
 えにもう一度書き直せ」と自
 分を鼓舞して再び長い時間を
 かけて「フランス革命史」を

書き上げたということです。
 このような高尚な生涯を送
 った人がいることを覚えたいと
 思います。

東北学院大学では、毎朝の
 学校礼拝を重視しています。
 クリスマスをむかえるにあた
 り、ぜひ聖書から学び、教職
 員の先輩からの言葉にも耳を
 傾けていただきたいと思いま
 す。また、内村鑑三をはじめ
 とする、優れた先人たちの語
 りかけにふれるための読書も
 お薦めします。

この号を手にかけている頃は、ちようど大学クリスマスが開かれていたことと思います。

一二月に入ると

あちらこちらからクリスマスが近づいたことを告げるものが耳目に入ります。大方の日本人にとってクリスマスは

子ども頃の記憶とともによみがえってきます。キリスト



大学宗教主任 永井 義之

泉キャンパス

れだけの理由がありますし、歴史的にずっと祝ってきた意味もあります。キリスト教大

せん。大人の真面目にクリスマスを祝うのです。そこにはそ

今年もクリスマスを祝う時期となりました。町にはクリスマススの雰囲気漂う時です。皆さんの周りでも様々にクリスマス

多賀城キャンパス



大学宗教主任 野村 信

「クリスマス」と「ミサ(礼拝)」が合成されて「クリスマス」という言葉になったものです。から、キリストを礼拝することがクリスマスであるという

ことです。東北学院では、この精神を継承して、クリスマス

学に学ぶ学生諸君には、ぜひこのことを知っていただきたいのです。東北学院の設立者たちはこの土台の上に学校を建てました。上に出来上がったものだけでなくこの基礎部分を見つめて欲しいと願っています。

各キャンパスのメッセージ

のクリスマス礼拝は、一二月一三日(木)午後二時半からです。各教会でも一二月三日の日曜日にクリスマス礼拝を行い、二四日の夜にイブ礼拝を行ないます。ここで真のクリスマスをお祝いしましう。



土樋キャンパス

大学宗教主任 北 博

ルカによる福音書二章八節以下の記事によると、イエスが誕生した時、野宿をして羊の群れの番をしていた羊飼いに天使が近づき、救い主の誕生を告げました。創世記四六章三四節によれば、羊飼いは、イスラエル人の祖であるヤコブの時代、既にエジプト社会で差別を受けていました。イエスの時代のユダヤになる

にその喜ばしい知らせに接したのです。その救い主は、旅先でホームレスになった夫婦の子として生まれ、飼葉桶という最低のベッドに寝かされて、羊飼いを待っていました。もし羊飼いが野宿をしていなかったら、この喜ばしい知らせには接していなかったことでしょう。「地には平和、御心に適う人にあれ。」世界中の夜空を見上げて祈るしかない人々に、このクリスマスが希望に満ちたものとなりますように。私達もそのような人々を思いながら、祈りを合わせましょう。

「心開かれて」



大学宗教授主任 村上 みか

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりませうに。」

ルカによる福音書

一章三八節

聖書の降誕物語には、天使がマリアにイエスの誕生を告げ知らせる場面があります。「あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名付けなさい。」この言葉を聞いてマリアは驚き、答えて言います。「どうして、そのようなことがあり得ましょ

うか。私は男の人を知りませうに。」ヨセフといういいなづけがいたものの、未婚の身であったマリアは、そのよう

なことが起こるはずはないと、天使の言葉を否定します。しかしその子は聖霊によって神の恵みのうちに生まれてくるのだと知らされると、マリアは素直にそれを受け入れ、言いました。「お言葉どおり、この身になりますように。」

天使の言葉は常識的に理解できないものであるばかりか、未婚のうちに子供を産むことは、二千年前のイスラエル社会では大きなリスクを意味するものであったでしょう。それも拘らず、マリアはそれを受け入れ、それが自分の身に起こることを望みました。なぜでしょう。おそらく、天使の言葉を聞いて、マリアにはふとわかったのだと思います。「今、何か大切なことが起ころうとしている」と。よく理解できず、予期しなかったことではあるけれど、自分の思いを越えたところで、何かとても大切なことが起ころうとしていることをマリアは感じ取ったのでしよう。そうして

自らに降りかかってくる不利益を顧みず、そこへ自分の身を投げ出してみようと天使の言葉を受け入れたのでしよう。このマリアの物語には、人の心が真実に開かれ、世間の常識や自分の都合にとらわれずに、臆することなくそこへ自らを差し出していく、そのよ

うな人の姿が描き出されてい

るように思います。このマリアの言葉を読み返すたびに、私はあるスイス人の友人のことを思い出します。五十代半ばの彼女は医師であり、また法律家でもあるたいへんパワフルな女性ですが、この彼女、幼い頃からずば抜けて頭脳明晰で、一を言えば十を理解する本当に頭の良い人でした。長じて彼女は医学を学び、医者になりますが、彼女は大学を卒業するとすぐにアフリカへ行きました。彼女の能力でしたら大学に残って研究を続け、あるいは大きな病院で最先端の医療に携わることも出来たでしょう。彼女はしかしその道を選ばず、アフリカに行つて、無医村の医療に尽くしました。そしてスイスに帰国した後、小さな村に診療所を開いてその村の人々の診療に携わり、時には貧しくて医療費が払えない

外国人労働者たちの面倒をも見ていました。そのような彼女ですから、経済的には苦しく、三人の子供を抱えていつも困っていました。彼女ほどの能力をもっていれば、おそらく手に入れることが出来たであろう成功や名誉や地位、そして経済力とは、彼女は無縁でした。そのために力を注ぐことを彼女はしてこなかったのです。しかし大切だと思つたことのためには、突き進んで実行して生きてきた人で、要とされるところへ自らを献げてゆくー彼女もマリアと同じく、真実に心開かれて生きる人であったように思います。彼女はつねに聖書の言葉に耳を傾けて生きている人でした。自分がどう生きていったらよいか、どう判断したらよいか、いつも迷う中で、聖書に学び、考え、生きてい

ました。そうして彼女は自分に与えられていた豊かな才能を、自分のために用いるのではなく、外に差し出して生きてきたのです。人が羨むような成功や経済力は持たないけれど、強い愛の力を持ち、それによって人を、そして自らをも豊かにする、そのような生の可能性を彼女は教えてくれました。

集まって、輪になって腰掛け、そこで彼女が聖書のこのルカによる福音書のイエス誕生の物語を読むのです。マリアも、そして生まれてくるイエスも、自分への思いに囚われてなかなか真実を見ようとする私たちに、真実に開かれた生のあり様を教えてくださいました。クリスマスは、そのような生の可能性が私たちに示される時です。今年のクリスマスも、私たちがそのことに思いを馳せる良きときになればと願っています。



ある年のこと、私は彼女の家でクリスマスを祝いました。部屋にはろうそくが灯され、真ん中には大きなクリスマスツリー、そして木の根元には色とりどりのプレゼントが置かれています。夕方になると子供からおじいさん、おばあさんまで、家族一同が集まり、ご馳走を食べてお祝いが始まります。けれども、彼女のところではこのにぎやかな晩餐の前に、静かなひと時がもたれていました。全員が居間に

1 'En arxhē hēn o logos, kai theos hēn o logos. 2 oti panta di' autou ēγένετο 4 en' autō 5 kai 6 'Eγένετο άνθρωπος 7 ούτος 8 φωτός, 9 ἦν τὸ φῶς 10 ἀνθρώπων, 11 ερχόμενον εἰς οὐκ ἔγνω. 11 εἰς τὰ ἴδια

Q&A

キリスト教

Q クリスマス・イヴとクリスマスとは

一二月二五日がクリスマスであることは常識ですが、現実には二四日のクリスマスイヴのほうが色んな行事が行われたりして本番のような印象があります。イヴというのは前の晩にあたるので前夜祭的な意味で二四日が祝われるのでしょうか。そうすると二四日に前夜祭をし、さらに二五日にクリスマス当日の祝いを

するのがクリスマスの祝い方なのでしょうか。ここには近代人の誤解と混乱があるようです。二四日と二五日は別の日だという言い方は近代人の時間感覚からきていることです。古代の人々の一日は夕刻に始まりました。つまり二四日のイヴ礼拝と言っているものは実は夕刻から二五日になっていますので二五日のクリスマス当日であると言うことになります。本来の一日の数え方からするとクリスマスは現代人のいう二四日夕刻に始まり二五日に及ぶものであったようです。二四日イヴ礼拝という形は古代の古いクリスマスのある方を残しているということが出来るのではないのでしょうか。

「クリスマス礼拝って何ですか？」と尋ねられますと、答えることはあまりにも多すぎると思います。そこで、簡単に分かりやすく答えますと、クリスマスの誕生日を祝う礼拝です、と答えましょう。一二月二五日がキリストの誕生日、

Q 「クリスマス礼拝」とは？

(永井 義之)

マ帝国で祝われていた「太陽の誕生祭」(冬至祭)に代わって「義の太陽」キリストの出現を祝うキリスト教化がなされたのです。この時期、「キリストの受肉と人格」に関する論争があり、キリスト養子論という異端説を退けるためにキリストが神の御子として人間の姿で誕生されたことが強調されたことが背景にあります。

2007年度 宗教部の活動

通 年

- 大学礼拝
 礼拝(朝) 土樋・泉・多賀城キャンパス 月～土曜日
 礼拝(夜) 土樋キャンパス 毎週水曜日
 寄宿舎礼拝
 泉男子寄宿舎 毎週月曜日
 泉女子寄宿舎・旭ヶ岡寄宿舎 毎週火曜日
 聖書研究会
 土樋・泉・多賀城キャンパス
 宗教部会 毎月
- 4月 チャペルニュース100号(新入生歓迎号)発行
 キリスト教活動のハンドブック発行
 第12回スプリングカレッジ(14日)
- 5月 春季宗教教育強調週間特別伝道礼拝
 泉(9日)・土樋キャンパス [朝](10日) 説教者 中野 実先生
 多賀城(9日)・土樋キャンパス [夜](10日) 説教者 田中かおる牧師
- 6月 チャペルニュース101号(春季特別伝道礼拝特集号)発行
 キリスト者推薦学生との懇談会(5日)
 礼拝奉仕者懇談会
 土樋(11日)・多賀城(22日)・泉キャンパス(14日)
- 7月 第31回青山学院合同チャプレン会議(20日～21日)
 第33回サマーカレッジ(26日～28日)
- 9月 第53回教職員修養会(3日～4日) 講師 岡野 昌雄先生
- 10月 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝
 泉(2日)・土樋キャンパス [朝](3日) 説教者 川音 幸夫氏
 多賀城(3日)・土樋キャンパス [夜](3日) 説教者 大坂 純先生
 チャペルニュース102号
 (サマーカレッジ・秋季特別伝道礼拝号)発行
- 12月 泉キャンパスクリスマス(7日)
 キリスト者推薦学生との懇談会(4日)
 チャペルニュース103号(クリスマス特集号)発行
 大学クリスマス
 土樋・泉(12日)・多賀城キャンパス(13日) 説教者 小友 聡先生

2008年

- 1月 第12回キリスト者教員研修会(12日)
 礼拝オルガニスト懇談会(12日)
 礼拝司会者懇談会(12日)
- 3月 大学礼拝説教集(第12号)発行
 研修会・修養会発題報告集発行

すなわちクリスマスと教会の暦で定められていますので、この日を祝って礼拝を捧げるのです。

キリストの誕生日の前夜は、クリスマス・イヴと呼ぶことは、みんな知っていると思いますが、つまり、二四日ですが、

この日にも教会では、礼拝をします。二四日の夜にロウソクを用いて、「キャンドル・サービス(燭火礼拝)」を行います。キリストが暗闇を照らす光として到来したので、夜にロウソクの光を用いて礼拝するので。

さて、クリスマス・イヴの礼拝、そしてクリスマスの礼拝は、いつから始まったかご存知ですか、実は、キリストが誕生したその夜に、もう礼拝が行なわれたのです。聖書をご覧下さい。ルカによる福音書の二章八節以下には野に

いた羊飼いがキリストの誕生を告げられて、ベツレヘムという生誕地に向かう話が出てきます。マタイによる福音書二章には、東の地方から占星術の学者達が星に導かれて礼拝をしに来ます。最初の礼拝者たちは、羊飼いであり、

東方の博士たちです。こうして、キリストは、誕生の日から礼拝をされるお方であったのです。

(野村 信)

● ● 編集後記 ● ●

今年度の最終号となりました。一年がまもなく終わろうとしています。一年生諸君にとって大学生としてはじめて過ごしたこの一年はいかがだったでしょうか。特に一年生諸君は日々の礼拝を通し、またクリスマス礼拝を通し、東北学院がよって立つキリスト教が何であるのかいくらかでも感じ取っていただけではないでしょうか。皆さんの上に、クリスマス

(N A)